



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年1月31日

上場会社名 扶桑化学工業株式会社 上場取引所 東
コード番号 4368 URL https://fusokk.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉田 真一
問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員管理本部長 (氏名) 伊藤 裕之 TEL 03-3639-6311
四半期報告書提出予定日 2024年2月9日 配当支払開始予定日 ー
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績 (2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	43,135	△18.0	8,226	△44.1	8,698	△43.5	6,106	△44.5
2023年3月期第3四半期	52,634	32.7	14,703	43.3	15,392	47.1	11,008	50.2

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 6,701百万円 (△39.1%) 2023年3月期第3四半期 10,998百万円 (39.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	173.25	—
2023年3月期第3四半期	312.36	—

(参考) 減価償却前連結営業利益 (連結営業利益+減価償却費)

2024年3月期第3四半期 13,160百万円 2023年3月期第3四半期 17,885百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	125,126	91,891	73.4	2,606.88
2023年3月期	113,528	87,502	77.1	2,482.80

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 91,891百万円 2023年3月期 87,502百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	30.00	—	33.00	63.00
2024年3月期	—	33.00	—	—	—
2024年3月期 (予想)	—	—	—	33.00	66.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	60,500	△11.6	10,950	△42.2	11,550	△41.5	7,900	△44.1	224.13

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(参考) 減価償却前連結営業利益 (連結営業利益+減価償却費)

通期 18,250百万円 (△21.6%)

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 簡便な会計処理および四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の有無となります。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	35,511,000株	2023年3月期	35,511,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	261,330株	2023年3月期	267,466株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	35,246,582株	2023年3月期3Q	35,243,575株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4) その他	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における経済環境は、欧米では高インフレは鈍化し、対応した金融引締め政策の転換時期が注目されています。このような環境下で、米国経済は個人消費が堅調で好調に推移しましたが、欧州経済の低迷は継続しました。中国経済は、不動産市場の低迷が続き、消費環境も厳しい状況が継続し、成長の鈍化が顕在化しています。ウクライナ問題の長期化や中東情勢の緊迫の課題もあり、世界経済の先行きは、予断を許さない状況が継続しています。日本経済は、コロナ禍から経済活動の正常化が進み、回復傾向で推移しましたが、インフレの継続、国内外の政治・経済の課題の影響が懸念され、先行き不透明な状況は継続しています。

このような情勢下、当社グループは成長を維持するため、営業活動を強化し、顧客やユーザーとのコミュニケーションを深め、新規顧客の開拓や販売価格の改定に努めました。また、鹿島事業所に完成した新規製造設備の立上げを着実に進めるとともに、既存設備の保全・強化を継続し、ユーザーの要望に応えるように供給力の整備拡大を図っています。さらに、研究開発体制を強化し、新製品開発の取り組みも加速させています。加えて、本社移転等の就業環境の改善や社内体制の整備を推進し、経営基盤の一層の強化にも取り組みました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は43,135百万円（前年同期比18.0%減、9,499百万円減）となりました。営業利益は8,226百万円（同44.1%減、6,477百万円減）、経常利益は8,698百万円（同43.5%減、6,693百万円減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は6,106百万円（同44.5%減、4,902百万円減）となりました。

売上高、営業利益は、後述の各セグメントの要因により減収減益となりました。経常利益は、営業利益の減少に加え、為替差益の減少、支払利息の計上により、減益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、経常利益の減少に加え、投資有価証券売却益の減少、固定資産除却損の増加により、減益となりました。

当社グループの報告セグメントの業績は、次のとおりです。

(ライフサイエンス事業)

ライフサイエンス事業全体の業績は、外部顧客に対する売上高が25,847百万円（前年同期比10.6%減、3,058百万円減）、営業利益は4,705百万円（同13.1%減、711百万円減）となりました。

国内食品用途の需要は底堅く推移しているものの、工業品や日用品用途の需要減退により果実酸の国内販売が影響を受けました。海外市場は、欧州経済の低迷の影響が顕在化し需要が大きく落ち込んで推移し、リンゴ酸の海外販売が影響を受け減少しました。円安による売上高増加の効果はあるものの、コロナ禍の物流の混乱による世界的な在庫増加の反動の影響もあり、売上高は前四半期連結累計期間を下回りました。営業利益も継続して取り組んでいる販売価格の改定の効果はあるものの、売上高減少の影響に加え、生産調整や新設備の稼働による減価償却費の増加、円安による輸入価格上昇、エネルギー価格上昇等のコストアップ要因もあり、前四半期連結累計期間を下回り、減収減益となりました。

(電子材料および機能性化学品事業)

電子材料および機能性化学品事業全体の業績は、外部顧客に対する売上高が17,287百万円（前年同期比27.1%減、6,440百万円減）、営業利益は5,043百万円（同52.7%減、5,621百万円減）となりました。

半導体市場は、在庫調整は一巡し需要の減少は底を打った感があるものの、回復までには至らず低迷して推移しました。主力製品である超高純度コロイダルシリカの売上高は、コストアップ要因に対する販売価格改定や円安効果等の増加要因はありますが、低迷する半導体市場の影響を受け、前四半期連結累計期間を下回りました。在宅勤務の普及によるトナー需要減退の影響を受けていたナノパウダーの売上高は増加しましたが、セグメント全体の売上高は、前四半期連結累計期間を下回りました。営業利益も、円安の効果はあるものの、売上高の減少に加え、鹿島事業所の新設備の本稼働に伴う減価償却費や立ち上げに係る費用の増加、エネルギー価格の上昇、生産調整による稼働率低下によるコストアップの影響もあり、前四半期連結累計期間を下回り減収減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ11,597百万円増加し、125,126百万円となりました。これは主に、現金及び預金、商品及び製品、流動資産のその他に含まれている未収消費税、有形固定資産、無形固定資産が増加したためです。

負債については、前連結会計年度末に比べ7,208百万円増加し、33,234百万円となりました。これは主に、設備関係未払金、未払法人税等が減少しましたが、長期借入金が増加したためです。

純資産については、前連結会計年度末に比べ4,388百万円増加し、91,891百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加に加えて、円安により為替換算調整勘定が増加したためです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想につきましては、2023年9月15日の「業績予想修正に関するお知らせ」で公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

(4) その他

(重要な設備の新設等)

前連結会計年度末において計画中であった重要な設備の新設等のうち、当第3四半期連結累計期間に完了したものは次のとおりです。

会社名 事業所 (所在地)	セグメント の名称	設備の内容	投資予定額		資金調達 方法	着手 (年月)	完了 (年月)
			総額 (百万円)	既支払額 (百万円)			
扶桑化学工業(株) 鹿島事業所 (茨城県神栖市)	電子材料および機能性 化学品事業	超高純度コロ イダルシリカ 製造設備およ び付帯設備	19,768 (注) 2	17,803 (注) 1	自己資金	2021年8月	2023年4月 (注) 3

また、当第3四半期連結累計期間に変更があったものは次のとおりです。

会社名 事業所 (所在地)	セグメント の名称	設備の内容	投資予定額		資金調達 方法	着手及び完了予定	
			総額 (百万円)	既支払額 (百万円)		着手 (年月)	完了 (年月)
扶桑化学工業(株) 京都事業所 (京都府福知山市)	電子材料および機能性 化学品事業	超高純度コロ イダルシリカ 製造設備およ び付帯設備	10,000	5,077 (注) 1	自己資金	2022年8月	2024年9月 (注) 4
扶桑化学工業(株) 鹿島事業所 (茨城県神栖市)	電子材料および機能性 化学品事業	超高純度コロ イダルシリカ 製造設備およ び付帯設備	20,000	6,149 (注) 1	借入金	2023年9月	2025年7月

- (注) 1. 既支払額を変更しています。
 2. 当初予定総額18,000百万円から変更しています。
 3. 製造設備は2023年4月に完成し、2023年8月より本稼働を開始しました。
 4. 当初予定完了時期2024年4月から変更しています。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,412,586	25,528,596
受取手形及び売掛金	14,968,781	15,865,829
商品及び製品	11,880,482	13,507,894
仕掛品	691,534	645,679
原材料及び貯蔵品	3,468,641	3,992,805
その他	936,534	3,502,226
貸倒引当金	△14,513	△11,698
流動資産合計	55,344,047	63,031,333
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,418,074	16,078,408
機械装置及び運搬具（純額）	6,240,614	15,614,479
土地	6,913,458	6,921,286
建設仮勘定	30,938,084	16,671,464
その他（純額）	791,270	975,422
有形固定資産合計	54,301,501	56,261,060
無形固定資産	1,346,426	3,326,024
投資その他の資産		
投資有価証券	691,304	827,131
長期前払費用	366,419	264,456
繰延税金資産	1,173,700	1,021,556
退職給付に係る資産	102,262	79,496
その他	203,209	315,371
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	2,536,896	2,508,011
固定資産合計	58,184,824	62,095,097
資産合計	113,528,872	125,126,430

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,294,849	2,557,026
未払金	1,983,822	1,611,996
設備関係未払金	13,775,370	5,340,215
未払法人税等	3,301,849	111,529
賞与引当金	690,054	357,778
役員賞与引当金	71,800	67,610
修繕引当金	356,024	251,617
その他	434,899	781,252
流動負債合計	23,908,669	11,079,027
固定負債		
長期借入金	—	20,000,000
繰延税金負債	191,191	206,153
退職給付に係る負債	1,624,715	1,676,375
長期設備関係未払金	167,408	156,329
資産除去債務	27,974	17,924
その他	106,088	98,945
固定負債合計	2,117,377	22,155,729
負債合計	26,026,047	33,234,756
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,334,047	4,334,047
資本剰余金	4,820,722	4,820,722
利益剰余金	76,183,899	79,952,300
自己株式	△1,112,711	△1,087,205
株主資本合計	84,225,957	88,019,865
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	188,739	240,782
繰延ヘッジ損益	△3,019	△12,109
為替換算調整勘定	3,091,146	3,643,136
その他の包括利益累計額合計	3,276,866	3,871,809
純資産合計	87,502,824	91,891,674
負債純資産合計	113,528,872	125,126,430

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	52,634,119	43,135,033
売上原価	30,839,798	27,801,449
売上総利益	21,794,320	15,333,584
販売費及び一般管理費	7,090,862	7,107,216
営業利益	14,703,458	8,226,367
営業外収益		
受取利息	74,414	185,740
受取配当金	25,286	12,440
為替差益	562,291	350,250
その他	36,869	30,927
営業外収益合計	698,860	579,359
営業外費用		
支払利息	—	88,888
支払手数料	1,769	—
減価償却費	2,511	829
投資事業組合運用損	5,163	13,284
その他	597	3,780
営業外費用合計	10,041	106,781
経常利益	15,392,277	8,698,944
特別利益		
固定資産売却益	44	2,249
投資有価証券売却益	365,113	12,100
補助金収入	—	36,563
特別利益合計	365,158	50,913
特別損失		
固定資産除却損	21,907	67,614
特別損失合計	21,907	67,614
税金等調整前四半期純利益	15,735,529	8,682,243
法人税、住民税及び事業税	4,642,724	2,440,177
法人税等調整額	83,877	135,384
法人税等合計	4,726,601	2,575,562
四半期純利益	11,008,927	6,106,681
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,008,927	6,106,681

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	11,008,927	6,106,681
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△241,636	52,042
繰延ヘッジ損益	△40,257	△9,090
為替換算調整勘定	271,057	551,990
その他の包括利益合計	△10,836	594,942
四半期包括利益	10,998,091	6,701,624
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,998,091	6,701,624
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	15,735,529	8,682,243
減価償却費	3,182,250	4,934,499
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2,918	△3,653
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△206,308	△333,537
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	29,660	△4,190
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	64,117	74,211
修繕引当金の増減額 (△は減少)	△116,322	△104,406
受取利息及び受取配当金	△99,700	△198,181
支払利息	—	88,888
為替差損益 (△は益)	△334,409	△347,930
固定資産売却損益 (△は益)	△44	△2,249
固定資産除却損	21,907	67,614
投資有価証券売却損益 (△は益)	△365,113	△12,100
投資事業組合運用損益 (△は益)	5,163	13,284
補助金収入	—	△36,563
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,514,612	△756,511
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,980,149	△1,956,142
仕入債務の増減額 (△は減少)	△172,518	△798,782
未払金の増減額 (△は減少)	△470,262	△400,869
その他	97,380	△1,734,025
小計	12,873,647	7,171,596
利息及び配当金の受取額	85,666	197,172
利息の支払額	—	△70,799
補助金の受取額	—	36,563
法人税等の支払額	△5,736,057	△6,205,303
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,223,256	1,129,229
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,037,375	△4,418,911
定期預金の払戻による収入	781,254	1,423,773
有価証券の売却による収入	138,031	—
有形固定資産の取得による支出	△12,588,736	△14,422,208
有形固定資産の売却による収入	136	2,323
無形固定資産の取得による支出	△164,630	△2,629,060
有形固定資産の除却による支出	—	△10,050
投資有価証券の取得による支出	△109,420	△105,291
投資有価証券の売却による収入	511,574	22,994
投資事業組合からの分配による収入	5,162	20,254
長期貸付金の回収による収入	0	0
その他	△42,074	△147,445
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,506,078	△20,263,620
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	20,000,000
自己株式の取得による支出	—	△703
配当金の支払額	△2,112,016	△2,314,361
リース債務の返済による支出	△7,595	△7,526
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,119,612	17,677,408
現金及び現金同等物に係る換算差額	394,051	534,429
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△7,008,383	△922,552
現金及び現金同等物の期首残高	23,460,102	22,350,871
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,451,718	21,428,319

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ライフサイエ ンス事業	電子材料およ び機能性化学 品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	28,905,731	23,728,387	52,634,119	—	52,634,119
セグメント間の内部売上高又 は振替高	—	—	—	—	—
計	28,905,731	23,728,387	52,634,119	—	52,634,119
セグメント利益	5,416,762	10,665,164	16,081,927	△1,378,469	14,703,458
減価償却費	1,073,036	2,009,391	3,082,427	99,822	3,182,250

(注) 1. セグメント利益の調整額は、提出会社の総務部門・経理部門等、一般管理部門に係る費用
△1,378,469千円です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ライフサイエ ンス事業	電子材料およ び機能性化学 品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	25,847,380	17,287,653	43,135,033	—	43,135,033
セグメント間の内部売上高又 は振替高	—	—	—	—	—
計	25,847,380	17,287,653	43,135,033	—	43,135,033
セグメント利益	4,705,437	5,043,724	9,749,161	△1,522,794	8,226,367
減価償却費	1,182,405	3,602,316	4,784,722	149,776	4,934,499

(注) 1. セグメント利益の調整額は、提出会社の総務部門・経理部門等、一般管理部門に係る費用
△1,522,794千円です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。